

## 「これからの木質の科学と技術」

日本学術会議の在り方や運営の大変革が予定されている。これに伴って、次期（第 20 期）からは、現在の 7 部制や会員制度・会員選出方法等の大幅な変更が考えられる。また、現行の研究連絡委員会制度が廃止され、課題別委員会が設置されようとしている。

このような背景から現在の木材学研究連絡委員会を構成する学協会が、今後どのように連携を図るかが問われている。いずれの団体も木質資源を対象としてそれぞれの立場で形成されているが、木質資源を循環型社会構築の切り札と位置づけている。また、持続的・循環的な木質資源の利用が環境保全と資源循環型社会の構築に繋がり、その適切な利用が環境面からも有益であることが理解されるようになってきている。

今回のシンポジウムでは、このような観点から木材学研究連絡委員会を構成する 6 団体と林学研究連絡委員会の代表者に、それぞれの立場から提言いただき今後の「木質の科学と技術」の方向を討論する。

主 催	日本学術会議第 6 部木材学研究連絡委員会		
共 催	日本木材学会、(社)日本木材加工技術協会、(社)繊維学会 (社)日本木材保存協会、(社)紙パルプ技術協会、セルロース学会		
日 時	平成 16 年 5 月 22 日(土) 14:00 ~ 17:00		
場 所	東京大学農学部 弥生講堂一条ホール		
次 第			
(1) 開会挨拶	木材学研究連絡委員会委員長	富田文一郎氏	
(2) 話題提供			
日本学術会議の動向と今後	木材学研究連絡委員会委員長	富田文一郎氏	
日本木材学会の創立 50 周年記念事業と今後	日本木材学会会長・京大大学生存圏研究所教授	川井 秀一氏	
我が国の木材産業の現状と今後	(社)日本木材加工技術協会副会長・ (株)ユニウッドコーポレーション代表取締役	横尾 國治氏	
木質資源の利用と保存処理の今後	(社)日本木材保存協会会長・東京農業大学教授	檜垣 宮都氏	
紙産業における木質資源の今後	(社)紙パルプ技術協会専務理事	豊福 邦隆氏	
繊維、高分子の動向と木質科学	(社)繊維学会・お茶の水女子大学名誉教授	中島 利誠氏	
セルロース科学の展開の方向	セルロース学会・東京大学大学院農学生命科学研究科教授	空閑 重則氏	
これからの森林科学と木質資源	林学研究連絡委員会委員長	鈴木 和夫氏	
(3) パネルディスカッション			
(4) 閉会挨拶	木材学研究連絡委員会委員	服部 順昭氏	

なお、閉会后、17:30 より懇親会を予定しています。